

整形外科で治療を受けられる患者さんへ

脳性麻痺患者における脊椎の形態学的特徴に関する研究

研究機関 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 整形外科
研究責任者 金城 純人
研究分担者 我謝 猛次、金城 健、渡嘉敷 卓也、上里 涼子

脳性麻痺は、胎生期から新生児期までに生じた脳障害により運動機能障害をきたした病態の総称です。

脳性麻痺患者において、腰椎分離症や二分脊椎などの脊椎奇形が発生しやすいことが指摘されていますが、その詳細はあまり明らかにされていません。そのため、当院整形外科では、脳性麻痺患者の単純レントゲン画像やCT画像を振り返って調査することで、脊椎の形態学的特徴を調査する研究を行っております。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、脳性麻痺患者における脊椎の形態学的特徴を調査し、その詳細を明らかにすることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2006年4月以降、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 整形外科において、脳性麻痺の治療を受けられた方を対象とします。

2) 研究実施期間

2024年7月～2027年3月末日

3) 研究方法

撮影された単純レントゲン画像やCT画像を調査し、形態学的特徴を明らかにします。

4) 使用する情報

◇ 研究に使用する情報

匿名化したID、年齢、性別、疾患情報、画像情報、治療方法、治療期間、治療成績など。情報を提供して下さった患者さん個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名化されて扱われます。

5) 情報の保存

登録されたデータは当院整形外科の責任下に保存されます。保存期間は本研究終了（あるいは中止）後までとします。

6) 研究計画書の開示

研究に関する情報（研究計画書等）を当院ホームページに公開します。